

『子曰、知之者不如好之者、好之者不如樂之者』 *2月1日の全校集会から
(子曰く、これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず)

『知之者不如好之者、好之者不如樂之者』とは、「あることを理解している人は、知識があるけれど、そのことを好きな人にはかなわない。あることを好きな人は、それを楽しんでいる人に及ばない」という意味です。

この言葉は、学びについて「知る」「好む」「楽しむ」という三段階で表現しています。「知る」とは、単なる知識の獲得を意味するのに対し、「好む」とは、積極的な意志がはたらく段階です。さらにその上に、「楽しむ」が置かれています。自ら学ぶ意志がはたらくのが「好む」であるのに対し、「学ばずにはいられない」という感情がはたらくのが「楽しむ」という段階でしょう。

このように楽しんで取り組めるときは、たとえ困難があったとしても、それを乗り越えて継続することができると思います。何に楽しみを感じるかは、人それぞれですが、それが何であるにせよ、「これを楽しむ」ことが、何かをやりとげる原動力になるように思います。

○中学校の使命は、生徒が社会に出ても困らない最低限の「学力」と「対人関係能力」を身に付けさせることです。学校にはいろんな生徒が生活しています。時には些細なことで人間関係に摩擦が生じることもあるでしょうが、そんな集団の中で人間性を磨いてほしいと思います。

一言葉は人を変えるー

言葉は力である、と私は思う。一言がその命を奪うこともあれば、受けた人の人生を変えることもある。『舌先三寸で人を殺す』という言葉は、幼い頃からよく聞いたものだ。言葉というものは理不尽なほどに人間を動揺させ墮落させ非情に走らせるかと思うと、奇跡のように蘇らせ、向上させ、意欲を与えるものである。
*三浦綾子『小さな一歩から』

「みんながセリーナを応援しているのは知っています。こんな形で終わってしまってごめんなさい。でも、試合を観戦してくれて、ありがとう」(読売新聞 2018.9.11)

全米テニスオープンで、あれよあれよという間に優勝。日本人はおろか、世界中が驚き、賞賛の声が起こった。それもそのはず。無敵の女王、セリーナ・ウィリアムズ(36)を20歳の大阪がストレートで破ったのだから。相手はアメリカ人、場所はニューヨーク。完全なアウェーでの偉業である。途中、何度にもわたるブーイングの嵐。すべてがセリーナへの後押しであるが、その中で優勝を決めたのだ。

勝者は多くの場合、ガッツポーズをとったりするが、大阪はサンバイザーで目元を隠すようにし、喜びを押し殺した。小さい頃からの“憧れの人”への礼儀が自然に出たものであろう。勝者の陰には敗者がいる。気持ちの落差は天と地、この静か^{おうよう}で鷹揚なしぐさのすべてに、彼女の謙虚さと精神力の強さがにじみ出ている。そして、インタビュー。その時の言葉が標記の言。「こんな形で終わってしまって」、自分の喜びを表す言葉は一つもない。さらに続けた。「セリーナと戦うのが私の夢だった。あなたと試合ができてうれしい」と深々と頭を下げた。この瞬間から、ブーイングが消え、新しい女王を称える拍手がわき起こった。(五嶋靖弘)

*鷹揚(おうよう): 小さなことにこだわらず、ゆったりとしているさま

一和して同ぜず(和而不同)ー

原文は「子曰、君子和而不同、小人同而不和」。『論語』のなかの孔子のことばで、「子曰く、君子は和して同ぜず、小人は同して和せず」と読みます。

君子(才徳の高い立派な人)は、他人の意思や立場を尊重して、高度の協和を図りはするが、自己の見識や判断を放棄してまで軽率に同調することはしない。そして、小人(徳のない度量の狭い人)は、その場ですぐ付和雷同^{ふわらいどう}するが、決して真の協和を図りはしないと言っているのです。

つまり、人の付き合いは、調和するように心掛けるべきではあるが、むやみに他人の意見に引きずられたり妥協してはいけぬ。協調は大切であるが、道理に外れたことにはあくまで反対しなければならないという意味です。

これは、集団の中における一個の人間としての生き方にも通じます。周りの人とは仲良くしなければいけないけれど、仲良くするために安易に同調したり、ひたすら他人の意見に賛同するような行動はあってほしくありません。周りの人に左右されると、自分を見失い、自分の良さを十分に発揮できなくなるからです。

「和」するためには、それぞれが主体的に自分の意見をきちんと持つことが必要であり、その上で、それぞれが調和できる方向を模索できるのです。

「和」というのは「五味を混ぜ合わせること」。つまり、お互いにいろいろな持ち味を出し合って混ぜ合わせることを意味しています。自分というものをしっかりと持ち、自分の良さを十分に発揮しつつ、相手の良さも認めることにより、お互いの良さ(持ち味)も生きてくるのだといえます。「みんな違ってみんないい」といえる^{ふところ}懐の広さや深さ、心意気にもつながるのではないのでしょうか。